

お月様いくつ

お月様いくつ 十三七つ まだ年や若い あの子を生んで
この子を生んで 痩せた痩せた 二日月さまよ

越中富山の

越中富山の反魂丹 鼻糞丸めて万金丹 それを呑むもの
あんぼんたん

べつびん べつびん

べつびん べつびん 大べつびん 秤にかけたら十匁
新婚蓮根 生蓮根 煮ても焼いても 食われん蓮根

ゆんべ夢見た

昨夜夢見た 地獄の夢を 鬼が餅つきや 閻魔がちぎる
鼻欠け地蔵が 食いたがる われも食いたけりや
てつたいせえ てつたいしようにも 襷やない
隣行つて借つてこい 隣の婆はお茶婆あ かくもち焼くてて

臍焼いた その手で お釈迦の顔撫でた お釈迦臭いてて
鼻つまんだ

いろは唄

いろはに金平糖 金平糖は甘い 甘いもんはお砂糖
お砂糖は白い 白いもんは兎 兎は跳ぶ
跳ぶもんは蚤 蚤は赤い 赤いもんは ほぼずき
ほぼずきは鳴る 鳴るもんはおなら おならは臭い
臭いもんはうんこ うんこは黄色 黄色いもんはバナナ
バナナは高い 高いもんは富士山 富士山は遠い
遠いところは東京 東京は賑がし 賑しもんは 閑所の蛆



日露戦争に勝利した後
「二百三高地」と呼んで
この髪型が流行した。